

映画のこと 手当り次第

淀川長治

①



ジャンヌ・モローは「女優の魅力は歳と共に高まるもので、歳と共に消え去るようでは真の女優とは言えない」と厚かましくもおっしゃっている。

フランスの名女優サラ・ベルナールは六十五歳で「ジャンヌ・ダルク」を演じ、その二幕目の裁判のところで、裁判官が「して、そなたのトシはいくつじゃ」と聞く。するとサラは「十九歳でござりまする」。ここで毎晩客席からは割れるような拍手。六十五歳のババアは一瞬胸を張り、その拍手に応えて深く頭を下げた。その十九歳への自信。

田中絹代はこの数年間、帝国ホテル住いである

都心のまんなか、何かと便利。それで撮影のあいまには出来る限り銀座を歩きロードショー映画館がよい。一流の洋画封切館で外国の映画を見て新しい感覚を身につけて、それハッスルとか言うものを湧かしてホホッ。田中絹代さん演技が老けて悪る枯れせぬわけである。映画を見ていて、ふとひざに自分の手がのつかっている。それなのに自分の手の感覚がない。ロッカン神経痛のはしりなのであろうかと、その手をわが手でつねろうとして驚いた。これは人の手。じろりと隣りを見て見ぬふり。男がすましている。はらいのけて表に出ると、男がついてきた。田中絹代さんはサンデラス。男は囁いた「どっか行きませんか」。そこで

しなりとしなをつくり「あのう、帝国ホテルなら」。男ひるんで「あそこは、ちよいとねえ」。この時ふり返えり、サングラスを外し正面向いた。相手の男、うわッと言う顔で逃げ去った。

これがねえ田中絹代だから逃げてくれたのならいいのですが、うわッ、こんなババアかとびっくりして逃げたらしいんです。けれどまだ、まちがってあとをつけて下さるだけでも、あたし嬉しうございました。それで男が逃げたあとの淋しさホッホッホ。

×

ユル・プリナーのラブ・シーンの心がけは、いかにして内からにじみ出すかである。そしてそれを最もよく現わせるのが自分自身の「目」。

×

と言うように俳優は芸を磨き女優は年齢を征服しようとする。あれもこれも、人間の勉強。その人間の勉強の、よって来るところは愛情、つまりは色気。映画の面白さの八〇パーセントはその人間の色気を楽しみにゆくこと。

ところが高校生、大学生でこれが頂天に達し、サラリーマンが重役となりさらに、社長となるにいたって映画は赤の他人。日本の大人のそれもオトコの色気の無さにはあいた口がふさがらない。ゴルフよし酒よしうなぎよし、さらに海外旅行けっこう。けれども洋画ベスト・テンのテン全部見ていらっしやらぬそのアホッたらしいあの顔。

×

ありやフィルム絵の絵ざらごとでワシは浮気にはコト欠かないよ、この年になったってどうしてどうして。それが非常に下等になってアミーバ的感

覚のバイキンの存在に等しい色気であることに気がつかぬ不幸。フランス製の「突然炎のごとく」の香りを一度嗅ぐ必要があるう。しかも、もうあの映画を見ても楽しめぬ手遅れ。あなたは大丈夫でしょうけれど。見てためしてごらん。

×

市川崑監督に逢った。えらいこっちゃねえ、とうとうアンタ引き受けたんだって。そうやねん、どないしよう思うて、まあ、やるより、しゃアない。関西育ちの崑さんとは関西ベンでしゃべれる気のかるさ。けどねえ、オリンピックくちうたつてそう心配せんかて、「逆にヘマしよったとこや、可笑しなカッコしたとこや、そんな……選手も人間やないか……ちうとこ撮りなはれ」私がそう言うのと「そやねん、ゴールインやスタートやそんな派手なとこ、みんなテレビで撮ってしまうんやさかい、こっちは人間や、選手という人間を撮るよりしょうがありませんがな」。

これは市川崑が「太平洋ひとりぼっち」が日本で封切られてから、あれでは駄目、あそここのカットはこっちにつないで、ここはこっち切って……ともう一度編集しなおしたのを、あらためて試写した晩の、そのホールでの私との立ちばなし。

映画は人間を描く。人間さえ描けたなら映画は上等。世界各国の一流監督が一年二年とかけてそれを描く。「シベールの日曜日」あれは色気において男は十五歳、女は三十歳、男はたんじゅん、女は複雑、それが見事に描かれて、そんな人間を人間自身が振るかえって勉強しない人、映画にはぜんぜん行かぬ人、ゴルフばかりしている人、そんな人は死んだ方がよっぽどましである。

浮世御殿のマダム

小川 丑郎



写真説明 アバーディーンは香港島の真裏にある漁村である。また香港発祥の地でもある。ここには貧民層の水上生活者、蛋民族が蜉集し哀れな観光資源としてさらけ出されている。一方の海面には香港名物フローティングレストランが浮上し、夜ともなれば龍宮城の再現とばかり満場のネオンで景観を添える。各国の旅行者が必らず訪れて見る場所である。

最初單身で香港に赴任した頃は、二カ月前の調子でホテル住いにも飽きて、ようやく新聞広告で見つけたとある高級住宅の部屋を借りて移りたいと思った。交渉にその家に足を運んでみると応待に出てきたのが、年の頃は三十二、三才の上海系中国人の美人マダムで、モチモチ歩き可愛らしい女の子供を連れ添っていた。マダムは「私の一家は大の日本人びいきです。主人ももちろんいま日本へ旅行中です。あなたを大歓迎しますからぜひ部屋を使って下さい」ということで、それは渡りに船と簡単に話しがきまった。部屋の調度品もすべてデラックスだし、バルコニーからは広々としたビクトリアパークやら、ノースポイントの街の一角、海の方こうには九竜サイドの美景が一望に見渡せて、ほくはすっかりその部屋が気に入ってしまった。

さて、部屋を借りて二、三日も過ぎた或夜のことである。その夜は急ぎの原稿を書き上げてしまうため、午前三時頃までセミ徹夜を敢行してからベッドにもぐり込んでウトウトとしかけたところであった。ふとたまたまぬ気配を感じて聞き耳を立てると、寝室の近くから男女のひそひそ話が聞えてくる。やがて衣ずれの音が通り過ぎたと思ったら、どうやら、マダムの寝室のドアが密

かに締められたようである。ほくはひょっとしたら主人が日本から帰ってきたのではないかと思ったが、それにしては深夜という時刻がどうも不自然である。

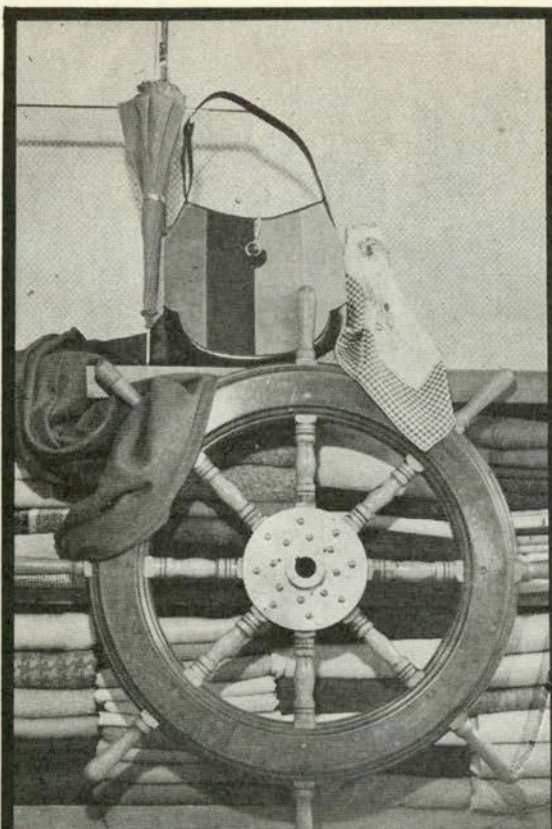
こうなると人間として生れた性の浅ましさとというやつである。あれやこれや想像をたくましくしながら、一人身のほくはついに寝つかれない一夜であったことを告白しておく。

実は、それからというもの、マダムにはこうしたたびの秘密の生活があることを知ったのである。同時にマダムに正式の主人がはたしてあるのか、ないのか疑問にもなってきた。そしてよく考えてみると、つまりほくはマダムの口上手に信用させられて、浮世御殿に迷いこんだ一匹の番犬的存在である悲哀さえ感じ出していたのである。昼間のマダムはいとも淑やかに振舞い静かに愛児を相手にしたり、女中を連れてショッピングに出かけたりする。それが夕方になるときまっとように盛装を凝らして自から自家用車を運転して街の夕闇の中へ消え去って行くのである。だが、このうら若いマダムはエトランゼの食客であるほくには、なんとなく哀願めいた表情で言葉も少なめであったが、なにくれとなく親切にしてくれた。それがまたフェミニストのほくを去り難い心情に追いやっていったのも事実であるが……。

それから三カ月ばかり経過してから、マダムは急にシンガポールへしばらく旅行してくるからといって、愛児と女中を残して單身で旅立って行った。同時にほくもまたこの浮世御殿から去る潮時でもあったのである。

ところでこれは後日譚であるが、マダムはかつては香港でも一流のボールルームやナイトクラブのステージシンガーとして華やかな存在の時代があったことを中国人の友達から教えられた。そして新人の台頭に追われ、パトロンにも見捨てられた彼女は、遂に上流階級の人士を密かに相手とする「夜の蝶」に転身したのである。ほくの先輩曰く「香港ではそういう女性を『交際の花』といって特別珍らしい存在じゃないよ」と。更に先輩は「香港では君のような男を四方辺頂つまり、ノウタリンのパカというやつで、部屋代まで払わせられて浮世御殿の番犬に座り込むなんて……。」と呵々と声をあげてめでたきほくに腹をかかえていた。

それにしても香港へ赴任早々、西も東もわからないまま飛び込んだ浮世御殿暮らしの数カ月間の体験は、余りにも香港的なファーストインプレッションとして、今でも決してマイナスでなかったと自認しているわけである。



美しさを創る...

アスター・ニュートン

トア・ロード③1818



1850年代 ネクタイ織りの図

ネクタイの専門店

元町バザー

神戸 元町一丁目



紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

紳士服飾・大丸前(3)3900
 婦人服飾・大丸前(3)1695
 婦人服飾・センター街(3)6114
 姫路やまとやしき(23)1221

'64

春は軽ろやかな足どりで
 ライトリィ・ステップ



実用品から高級品までととの
 っています。品質保証

創業25年 靴の専門店

クロス

神戸 トア・ロード
 大阪 阪神百貨店

春の帽子

福 富 芳 美



港のカモメが春を告げ、白い巨体の観光船が姿を見せると、神戸の町は外国のお客様で生き生きとして来ます。外人のなかでも、ことに楽しいのはピンクやブルーの美しい花の帽子をかぶった、お年を召したレディのお買物姿です。その若々しい帽子のおしゃれ気は、神戸の春にさわやかな明るさをそえています。

日本では、新婚旅行のお見送りに行くと、必ずといっていい程花嫁さんは、真新しいドレスに、初めてかぶったなれない帽子といった風景にお目にかかります。帽子のお店の方にお聞きしても、新婚旅行の時に初めて帽子入門をなさるお嬢さんが多いそうです。ということは何か着なれない、また着こなしが難かしいような既成の考え方と、経済的な面から、帽子をかぶるおしゃれに親しみと感覚が遅れているように思えるのです。もちろん外国でも、アメリカの場合、シアトルのように必ず普段でも帽子にドレスはつきものという習慣の町もあります。

し、またロスアンゼルスなどでは若い人は帽子をあまりかぶりません。ある程度土地の習性、伝統もある様です。神戸でも案外、女性の帽子姿は見受けられません。これは神戸に住む外人の多くが、商社や民間人で、気楽なベツドタウンとして住んでいたので正式なドレスには帽子、といったおしゃれが少なかったためではないでしょうか。東京の外人はその点外交的な正式の場にのぞむ人が多く、そのせいかずっといまでも東京方面の女性の方が帽子がお好きなようです。

最近では若い人が、スポーティな装いの時に、ちよつとスカーフを小粋にかぶったり、ヘアバンドで髪にアクセントつけています。これも「帽子をかぶるおしゃれ」の一種でしょう。こんなおしゃれは上手くこなしていられっしやるのですから、帽子もそんな気軽な気持で、楽しくかぶってみてはいかがでしょう。

帽子は洋服をひきたてるアクセサリの一つですから

主役はドレスです。だから選ぶときにはドレスのふんいきと出かける場所、帽子の形や色が決つてきます。

スポーティな装いやレジャーウエアですと、若い人にはベレーやクロツシエ、チロリアンハット。また水兵さんのような可愛ゆくやんちゃなボンボンハット。ヨーロッパから流行して来たメロンハット。ゴルフや春のドライブに、カスケツトハット、ジョッキークーハットをかぶるといいでしょう。中年のミセスには、トークやターバ



がアクセントになって、ドレスも帽子も生きた色の使い方になって来ることもあります。

かえて、ぜんぜん別個のアクセントカラーにするという大胆な考え方のほうがより効果があるようです。

年配でよく帽子をかぶるといわれる方で、黒しかかぶらないといわれますが、これも一つの方法です。ただこれは「美」ということからは少し離れているような気がします。豊かな色どりを持った沢山の種類の帽子の中か

ら、ドレスに合わせて選び出し、アクセントづけて楽しむ心が美しく帽子を着こなすポイントです。

日本人は総体に顔が大きく、背丈がひくいので、帽子をかぶると、スマートさがなくなるようがかぶり難い感じを持っていますが、顔の大きい小さい、背丈の高低などにとらわれないで、帽子をかぶる人も、それを見る人も気にならない、全体に見て自然だということがとても大切です。またかぶる時は、前から少しずつ後に深くかぶって行きましょう。後からかぶると帽子が浮いてしまったり落つかないのです。初めてかぶる方はベレーの変型やセーラーハットから気軽に手がけてください。

四月十四日のイースターに、新しい帽子をかぶると幸せがおとずれるといって、神戸の外人の中でもイースターハットをかぶる女性が多いようです。

色どり豊かな帽子をかぶり、春めく装いのあなたは、神戸の町にいつそう明るさをそえることでしょう。

ンがきりつとした感じで、スポーティな中にも女らしさを漂よわせます。またドレッシイなカクテルやアフタヌーンドレスでも、結婚式には豪華なカクテルハットやセミカクテルハットが似合いますし、およばれにはシニヨンハットのような小ぶりのものが合うと思います。進水式のテーブを切るミセスが、つばの広いキャブリーヌをかぶるのも華やかな神戸らしい風景です。

ただ、一つのドレスに、一つの帽子ということは理想ですけれども、現実にはよほど趣味のある方でないと整えられるものではありませんから、クロツシエのように少しスポーティなものでも、ドレッシイな服に合わせてかぶるといっても、自由な気持でいいものです。

帽子の色はドレスと同系統をつかうと、まず無難ですけれども、色を揃えたということだけでなく、例えば、グレイのスーツにトルコブルーの帽子をかぶると、それ

SPRING HAT

♣ 春の帽子 4 題



②



①



④



③

- ①カクテルハット 披露宴のお色直しやおよばれの席に、可れんなお嬢さま向きの帽子。(¥2,800)
 ②キャブリーヌ パーティや結婚式のおよばれに、ワンピースやアンサンブルドレスに似合う、ミセス向きの華やかな帽子。(¥7,500)
 ③キャノチエ 春の散歩やお出かけに、ツーピースやスーツを一段とすっきりみせる帽子。(¥3,500)
 ④ジョッキーマット ゴルフ、ドライブ、サイクリングなど、スポーツな春の装にジュニア向きの楽しく、若々しい帽子。(¥1,200)
 ※お帽子のことなら、マキシンでいろいろとご相談ください。

婦 人 帽 子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
 TEL ③6711~3 TEL (535) 5041

六甲のスカイライン
 白く光る神戸の街なみ
 春風が海を渡って
 神戸の街を吹きぬける



舶来雑貨とステッキの店

ステッキ オカダ

三宮生田筋 ㊟4665



舶来服飾

マルエス

元町3丁目 ㊟6541



紳士シャツ

大和屋のシャツ

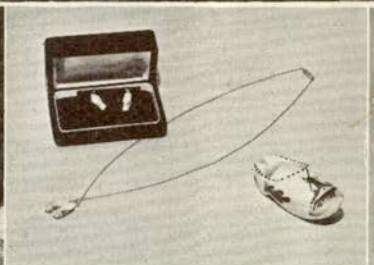
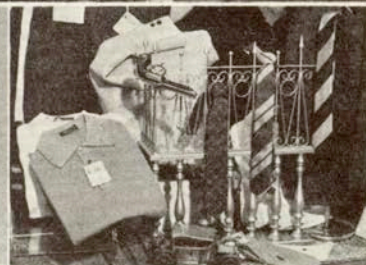
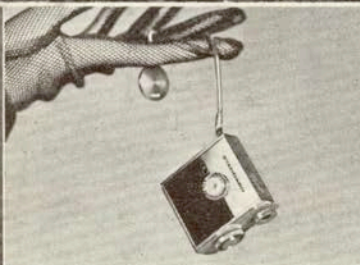
三宮センター街 ㊟6950



美しさを創る洋装店

装 苑

三宮店・三宮町1 ㊟2038
 六甲店・灘將軍通 ㊟1717



男子洋品の店
フナキヤ
元町通3丁目 ㊤3617

あらゆる電器製品の店
元町電機
元町通6丁目㊤ 3701~5

紳士洋品の店
サ力工
元町通2丁目 ㊤7885

FASHION ACCESSORY
AKIRA
三宮センター街 ㊤4895



□美しく光るパールグラスでおよ
ばれの席に。前三角型の方に



□ヘップバーン好みのシャレード
グラス。長い顔の方に



□華やかなパーティにドレスと同
色のめがね。丸顔の方に

チャーミングなあなたを創るおしゃれなメガネ

めがねの専門店

神戸眼鏡院

元町3・③3112-3・③91443
③0551 (貿易部)



Variety of Rife No. 1

暮らしのバラエティ

おしゃれな眼鏡

映画「シャレード」のなかで、オードリー・ヘップバーンが、細っそりとしなやかな身に、ジパンシーのデザインによるアカ抜けたドレスを次々と披露しました。その中でも、斬新な丸く大きな型のサングラスを、アイボリーのレインコート姿にアクセントつけてさっそうと登場します。この「シャレードグラス」がおしゃれな神戸っ子の春の話題になっていくようです。「ティファニーで朝食を」の際にも、ヘップバーンは大胆なデザインの個性的なメガネをかけて、そのめがねのおしゃれな感じがさらにみんな驚いたものです。

パリの女性の間でも、度のない素通しのメガネをかけることが流行しているそうです。私たちの暮らしの中にも今までの実用的だけのメガネから、アクセサリーとしてのおしゃれなメガネが利用されるようになってきたわけです。

そこで今月は、元町通三丁目にある「神戸眼鏡院」の鳥越浩さんに最近のメガネの傾向やご意見を伺がってみました。

＊正しく顔にマッチさせて選ぶメガネ

今までですと、メガネは眼医者さんに相談して「近眼だから正しいメガネをかけなければ」といった医療的な面だけで、出来合いの丸いレンズに、丸いフレームをつけてかけるのが常識のようでした。そんなところから、男性はともかく、女性はメガネなどと、頭から毛ざらいしている人が多かったのです。ところが最近では、医療的な面だけでなく、美容的な面がクローズアップされて、メガネのレンズもフレームも、かける人の個性にあわせて、様々な種類のものが出ています。昔は眼科と眼鏡店が一つの線で結ばれていたのですが、さらに美容院とも手をたずさえてゆく「楽しいメガネ」に変化してきました。

フランスやアメリカでは、年に二回の「メガネのモード発表」があり、男物では一つのメガネの発表に「レジャー用とオフィス用」また女物でも「ホームウェア用

と「パーティ用」、そして夫婦がそろってかける「ベアグラス」の表がある位です。ですからみなさんも、従来のフォーマルなメガネ、オフィス用のメガネ、レジャー向きのメガネなど、三種類ぐらいのものは揃えて、生活にバラエティを加えていただきたいものです。

今年の傾向は、横の線を強調した細いメガネや大型のサングラスで、中のレンズが濃い色のものから眼の動きが見えるような薄い色が流行っているようです。こんな風にメガネによせる感覚が非常に変って来ましたので、私たちの店でも、個性に合わせて『別註』していただくことをお客さまにおすすめています。フレームが二五〇〇円、レンズが二一三〇〇円で、五ノ六〇〇〇円位の予算でピッタリしたものが出来あがります。また選び



方のコツは、うるさいぐらいに店員に聞いてアドバイスしてもらい、自分だけの意見でなく、顔に合うか、眼球との距離はどうかということを、医療とおしゃれとかみ合わせてから選ぶことが大切です。そしてアフターサービスの徹底している店で、悪いところを何度も直してかけるといいでしょう。サングラスをかける時は、日ざし除けの実用性はともかく、思いきって、顔に合わせるということよりオーバーなくらいにかけた方がおしゃれな感じになります。これもレジャー用、タウンウェア用の二種類は持っていたきたいものです。

「眼は口ほどにもものをいい」と申しますが、メガネをかける方にとっては、選んだメガネにその人の個性が集まるといってもいいぐらい重要なポイントなんです。私達たちにも、もっとご相談ねがって、正しく顔にマッチし

たものを選んで、暮しを楽しくしていただきたいと思えます」

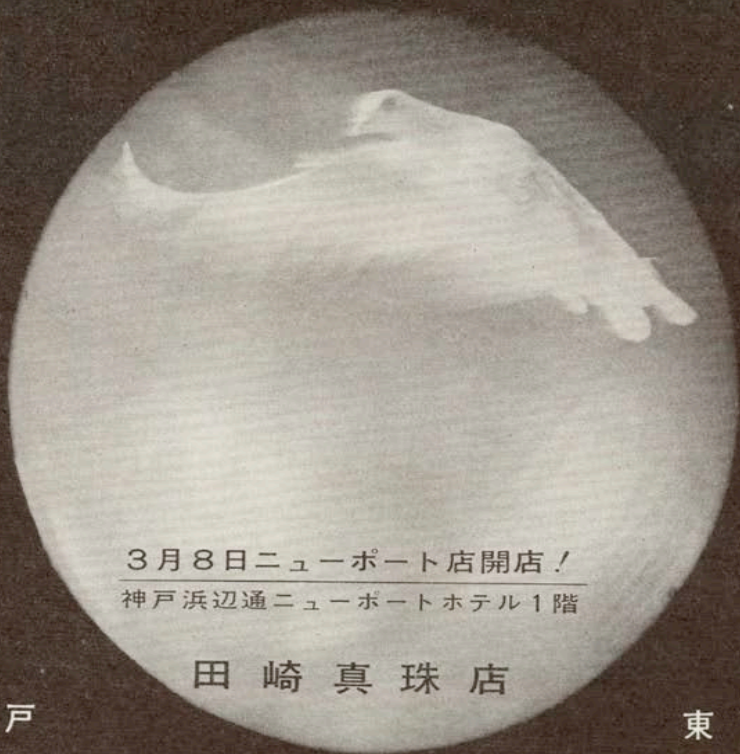
*ドレスや個性に合わせてアクセントずける

おしゃれめがねを愛用される女性のために、メガネのコンサルタントとして活躍されている、ファッションモデルの加茂みやじさんは女性のメガネのかけかたについて「女性のアクセサリーとしてメガネが愛用されるようになってきましたので、ドレスやその人の個性に合わせて好きなメガネをチャールミングにかけましょう。ドレスイナドレスには、光る石のはいった華やかなものや、パールなどのメガネ。スポーティなものにはファンシーな型やシャレードグラス、また丸型のメガネが新しい時代感覚を加えてリバイバルされていますのでお茶目にこなす



のもシャレたセンスです。顔色の良くない人はピンクのフレームのめがねをかけると明るく感じるように、自分の顔立ちの欠点をカバーするのもいいでしょう。メーカーも眼に焦点が来ますから、アイラインを少し長めに強くかきます。ただいくら顔立ちをアクセントづけるステキなめがねでも、レンズが曇ってはいけません。メガネのおしゃれは、まず手入れのゆきとどいたものをすっきりとかけることが、女らしく奥ゆかしく感じられるのではないのでしょうか」と話されています。

洋服や出かける場所によってメガネを変えるという、メガネも楽しくなってきたものです。ヘップバーンのようにあざやかなおしゃれグラスのこなしだが、自然に身につけば、もっと色んなあなた自身を発見されることが出来るでしょう。



3月8日ニューポート店開店!

神戸浜辺通ニューポートホテル1階

田崎真珠店

神 戸

東 京

秀 品 店:三宮新聞会館秀品店内
ニューポート店:浜辺通ニューポートホテル内

銀 座 店:銀座西 6
ヒルトン店:赤坂ヒルトンホテル内